

令和6年度学校経営方針

浦安市立明海南小学校

学校教育は、未来に生きる児童の望ましい人間形成の育成を目指して、児童一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、主体的・創造的に生きる力を培うことを目標としている。

本校においては、小中同一校舎への移行を見据え、園・小・中学校11年間を見通した「主体的な学び」「自他を尊重する心」「健やかな体」の育成に向け、「豊かなかかわり」を意図した教育活動の展開と、こども園から小学校、そして中学校への連携・一貫教育を推進し「明海地区を愛する」気持ちを育て、基礎学力の定着と確かな学力の向上、心の教育の充実、地域とともにある学校づくりを目指し、安心して子どもを託せる学校の実現に努めていきたい。

学校教育目標

「自ら学び 認め合い たくましく生きる児童の育成」

*キャッチフレーズ あかるいあいさつ
 けじめをつけて
 なんでもがんばる
 あけなん小

めざす学校像

「地域に信頼され、地域とともにある学校」

「安心して子どもを託すことのできる学校」

- *地域とともにある学校・・・目標や課題を共有し、協働する
- *安心・・・子どもの姿を通して信頼を得る

めざす児童像

「自信を持って、自分を好きになる」

- 自ら学び、身に付けた知識や技能を活用する子ども（知）
- 自分や他人のよさを認め、互いに尊重し合う子ども（徳）
- 命を大切にし、健康でたくましい子ども（体）
- 適切に表現する力を身に付け、人や社会に積極的に関わるとともに、我が国やふるさと浦安・明海地区に誇りを持ち、多様な文化を大切にする子ども（参画・交流・郷土愛・多文化共生）

1. 本年度の重点

○重点1『生徒指導の充実』

子どもたち一人一人にとって、学校生活が楽しく充実したものとなるよう努める。

- ・ 担任と学年・教科支援教員、学習支援室教員等、学年に関わる教職員は、全員が学年担当であるという自覚を持って、全児童の育成に努める。
- ・ 生徒指導の機能を生かした授業実践に努める。
- ・ いじめや学校不適応、不登校、対人関係の悩みなど、心の問題への対応については、校内組織を生かすとともにスクールカウンセラーや関係機関と連携して対応にあたる。また、学級では担任に相談しやすい雰囲気づくりに努める。
- ・ 支援や配慮を要する児童への指導について、生徒指導部会と特別支援教育部会が連携しながら、一人で抱え込ませない校内協力体制を構築し取り組んでいく。

○重点2『道徳教育の充実』

豊かな人間性と感性を育成するとともにいじめのない明るい学校を目指す。

- ・ 教育活動全体を通して、正義感や倫理観、自律心、思いやりやいたわりの心など、基本的なモラル及び心の健全育成に努める。
- ・ 「道徳科」を柱とし、考えて議論する道徳授業となるよう授業研究や資料の収集を積極的に進めていく。
- ・ 児童の変容を見取れるよう評価のしかたを工夫し、教材・教具等の蓄積を進める。
- ・ 学習活動参観において道徳科を公開し、学習体験を通して社会性や道徳性が培われるよう、保護者との連携や地域との関わり合いを深める。

○重点3『特別支援教育の充実』

共生社会を形成するための基礎力を育てる。

- ・ 障がいの理解に努め、子どもの立場や思いに寄り添った支援や援助の在り方を保護者とともに考え、合意形成を図る。
- ・ 障がいの克服や軽減、社会性の伸長を図るため、保護者や関係機関と連携して「個別の指導計画」を作成し、その日常的な活用を図る。
- ・ 特別支援学級と通常学級の子どもたち双方にとって実りある「交流及び共同学習」を実践し、豊かな心の育成や社会性の伸長に努める。
- ・ 特別支援学級や通級指導教室が本校内にあることの利点を活かしながら、児童への支援や保護者との協議・相談に役立てる。

⇒ 特別支援教育は、周囲のすべての方々への理解と温かい受容が大切。配慮を要する子どもたちを取り巻く子どもたちの心を育てたい。

○重点4『園小中連携教育の推進』

小中同一校舎への移行を見据え、特色ある教育活動を推進する。

- ・ こども園、小学校段階及び中学校段階の教育の役割を認識し、教職員間の連携を深める。
- ・ 教育活動全体を通して、児童生徒主体（教科）の交流を積極的に推進し、学校生活が円滑に接続できるように努める。
- ・ こども園、小学校と中学校の学びの連続性を踏まえた連携教育を推進する。
- ・

2. 学校経営の基本方針

（1）創意工夫のある教育活動の推進

子どもたちが意欲と充実感を持ち、明るく楽しい学校生活の中で、知・徳・体のバランスのとれた人間性豊かな子どもたちを育てるために、創意工夫のある教育活動の推進に努める。

（2）基本的な生活習慣の育成と体験的な活動の重視

明るく健康的な生活ができるよう基本的な生活習慣の定着を図り、体験的な活動を通して、規範意識の醸成や公共のマナー、社会の中で生きていくための最低限のルールが身に付くよう努める。

（3）信頼と尊敬に支えられた温かい人間関係の育成

教師集団の信頼関係を基盤に、教師と子どもたち、教師と保護者、地域と学校の「和」（輪）を広げ、温かい人間関係に支えられた教育活動の推進に努める。また、「あたたかい聞き方」と「やさしい話し方」を基盤にした対話ができる集団づくりを心がける。

（4）園・小・中学校の連携教育の推進

子どもたちの連続的な成長という観点から、継続性のある教育や合築校舎ならではの取組を展開し、小学校から中学校へと学校生活を円滑にしつつ、子どもたちの個性や能力を一層伸長できるよう努める。

（5）研究・研修の充実

子どもたちの教育に直接携わる教職員としての自覚を持ち、不断の研究・研修を通して使命感や倫理観、専門性を高めるとともに、教職経験や校内の役割に応じた資質能力の向上と学校運営参画に努める。

（6）安全・安心な教育環境の整備と充実

子どもたちが安全・安心で楽しくかつのびのびと学校生活が送れるよう、教育環境を整備するとともに、保護者が子どもたちを安心して学校に任せられるよう危機管理体制の整備と校舎内外の施設・設備の保全に努める。